

参考資料

目次

- ・意見交換の流れ・・・P 1

意見交換①

- ・第2回ワークショップまとめ「魅力的な将来像」・・・P 3
- ・都市計画マスタープラン（高津区資料）・・・P 4
- ・地形の特徴・・・P 5
- ・土地利用状況の特徴・・・P 6
- ・将来人口推計・・・P 7
- ・人口推移・人口割合推移・・・P 8
- ・人口動態マップ（15歳未満）・・・P 9
- ・人口動態マップ（15～64歳）・・・P 10
- ・人口動態マップ（65歳以上）・・・P 11
- ・バス路線図・・・P 12

意見交換②

- ・第2回ワークショップまとめ「将来像に向けた公共施設の使い方を整理したアイデア」・・・P 14
- ・公共施設一覧・・・P 15
- ・起点施設平面図・・・P 18

意見交換の流れ

意見交換①

60分

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考え

起点施設周辺エリアの現状把握

将来像（暮らしやすいまち）を出し合う

理由について、聞き取り深める

みどり溢れる
まちなみで
ホッとできる

徒歩圏内に
サードプレイス
（居場所）
がある

入りやすく
居心地のよい
交流の場がある

出た意見をシール投票で重みづけ



将来像を表す短冊づくり

ホッとする居心地の良いサードプレイスが溢れるまち

中間発表・休憩

意見交換②

65分

起点施設にあったらいいなと思う
機能やニーズを考えよう

起点施設の現状把握

将来像を実現するために
起点施設にあったらいいなと思う
機能やニーズを出し合う（理由もなるべく書く）

地域の農を知る
拠点として
産直市場があると
よい

働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがあると
よい（地域活動等）

相手方施設
にあった方が
良い場合
についても
考える

シール投票で発表する
内容を絞り込む

発表・まとめ

意見交換①

第2回ワークショップで意見交換した魅力的な将来像の共有

【高津区】第2回ワークショップでまとめた「魅力的な将来像」

- ・ 地域商店が活性化している
- ・ ソフトとハードの両面からバリアフリーが充実している
- ・ 住宅地にもスポーツ施設や公園が多い
- ・ 知識の集まるまちへ
- ・ 子どもの医療費や給食費の無償化
- ・ 子どものケアワーカーもいる地域
- ・ 喫茶スペースなどの働く世代向けのコミュニティスペースがある
- ・ 平日夜まで利用できるコワーキングスペース
- ・ 高津区が推すべきスポーツの中心地として夢パークを多角的な利用ができる施設へ
- ・ 歩道が広く、屋根のある歩道になって安全に通行できるようになっている
- ・ ステージイベントやマルシェなどができる、コミュニティスペースがある
- ・ 高齢者や障がいのある方も働ける場があり、そういった場所を紹介できるサービスもある
- ・ 区役所が多目的化し、複合的な施設や拠点になる
- ・ ダンスやBMX など子どもへのスクールで地域を盛り上げよう
- ・ 高津兄弟。プロスポーツ選手誕生、ミュージシャン誕生。音大の施設を有効活用。ストリート→アスリートへ
- ・ 災害に強い公共施設をつくっていく

起点施設周辺における地域の
将来像に意見交換に使用します。

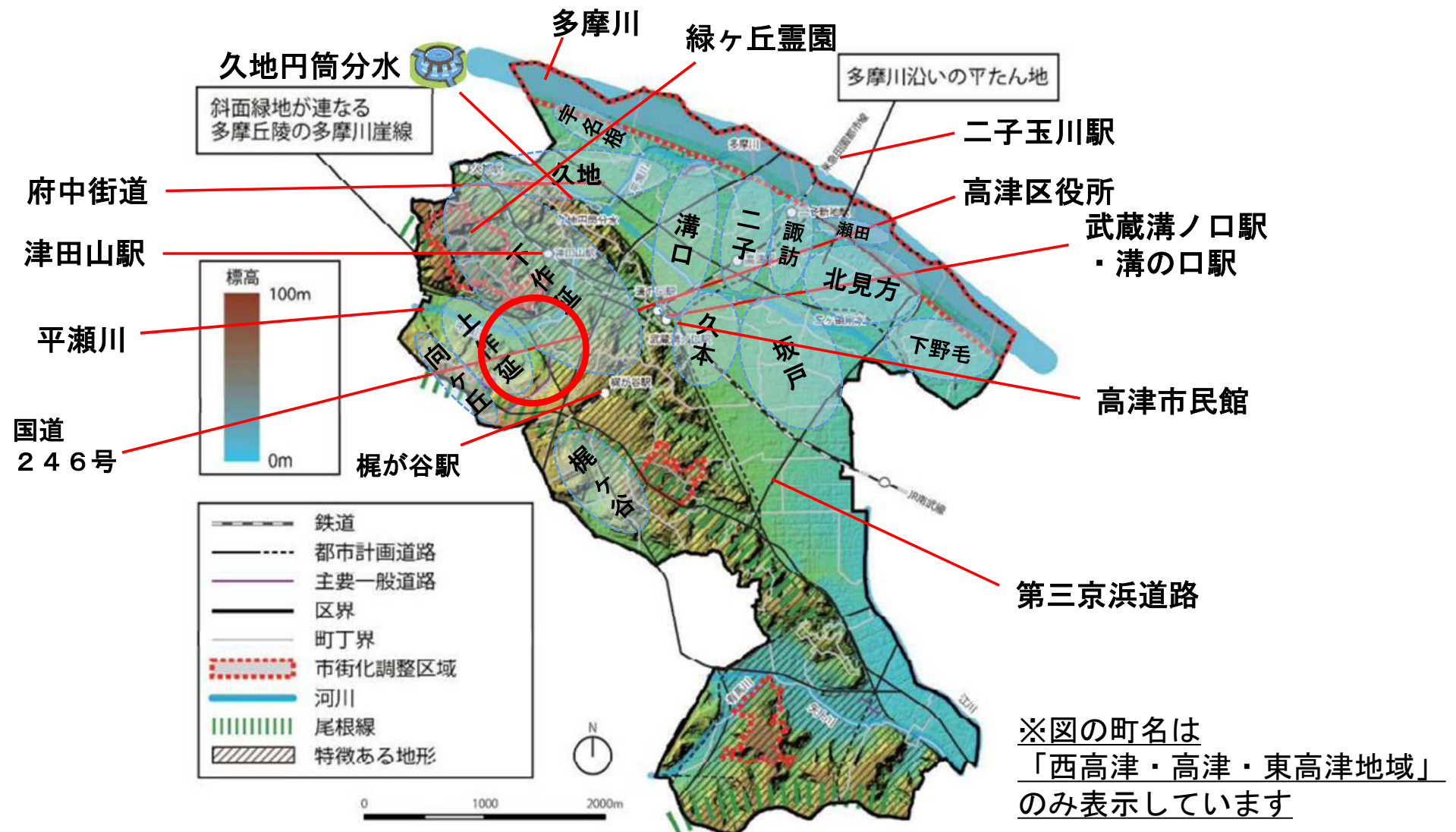
參考資料

ワークショップ等のとりまとめ



高津区の地形の特徴

- ・高津区は本市のほぼ中央に位置し、多摩川や二ヶ領用水の流れる平たん地と、多摩丘陵の東端部にあたる丘陵地で形成され、豊かな水辺空間と起伏のある地形が特徴となっています。



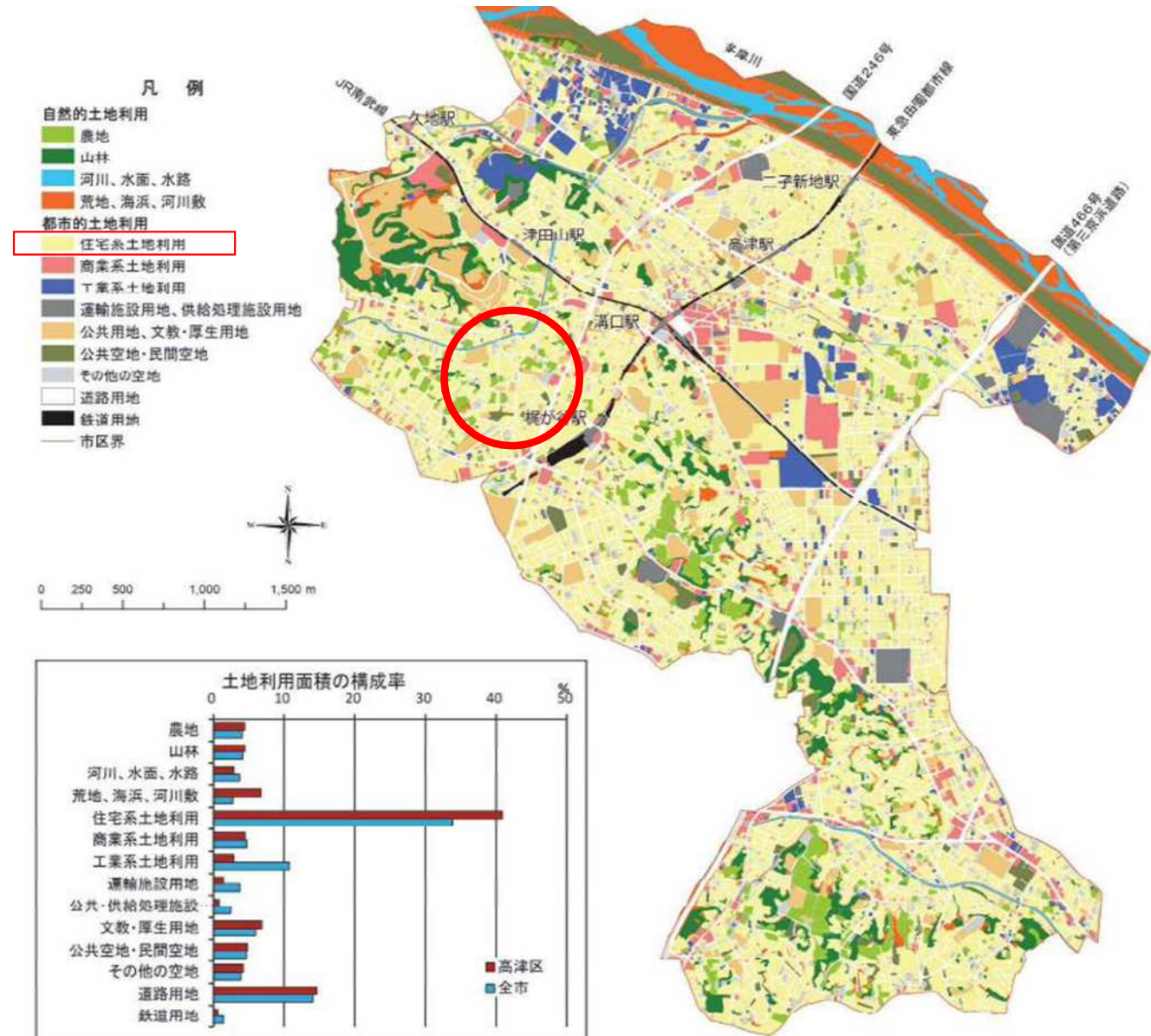
(参考) 川崎市都市計画マスタープラン高津区構想 (令和2年12月改定版)

高津区の土地利用の特徴

- ・ 高津区の土地利用面積の構成をみると、全市平均と比べて農地や山林の割合、商業系土地利用の割合ともに、全市平均とほぼ同程度であり、住宅系土地利用の割合は高い状況です。
- ・ 溝口駅などの駅周辺、主要な幹線道路の沿道などに商業系土地利用の集積が見られます。

(参考)

川崎市都市計画マスタープラン
高津区構想（令和2年12月改定）



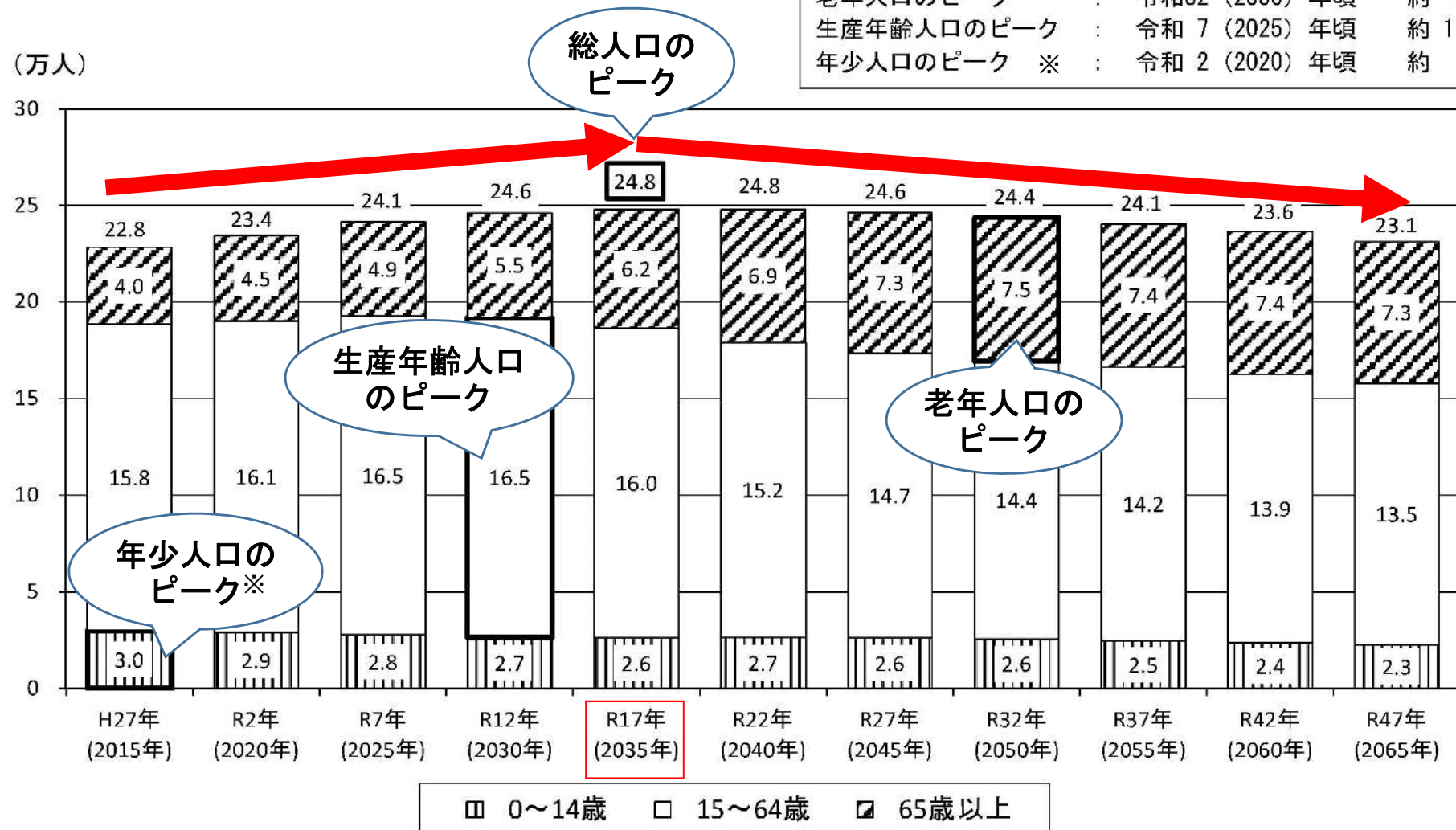
高津区の人口（将来人口推計）

高津区の人口は令和17（2035）年頃の約24.8万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定されています。市全体の推計と比較して、総人口及び生産年齢人口のピークが遅いのが特徴です。

※基準となる令和2（2020）年と平成27（2015）年及び推計期間の中での最大値

川崎市全体の推計

総人口のピーク	：	令和12（2030）年頃	約 160.5万人
老年人口のピーク	：	令和32（2050）年頃	約 47.5万人
生産年齢人口のピーク	：	令和7（2025）年頃	約 106.0万人
年少人口のピーク ※	：	令和2（2020）年頃	約 19.0万人

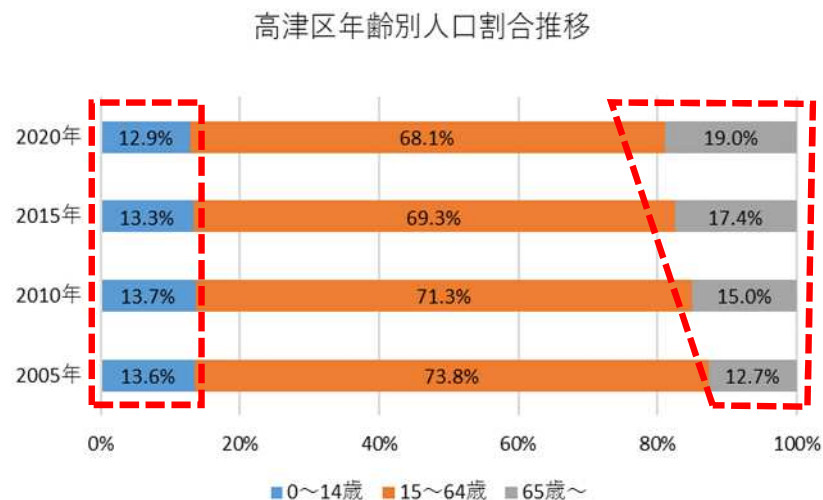
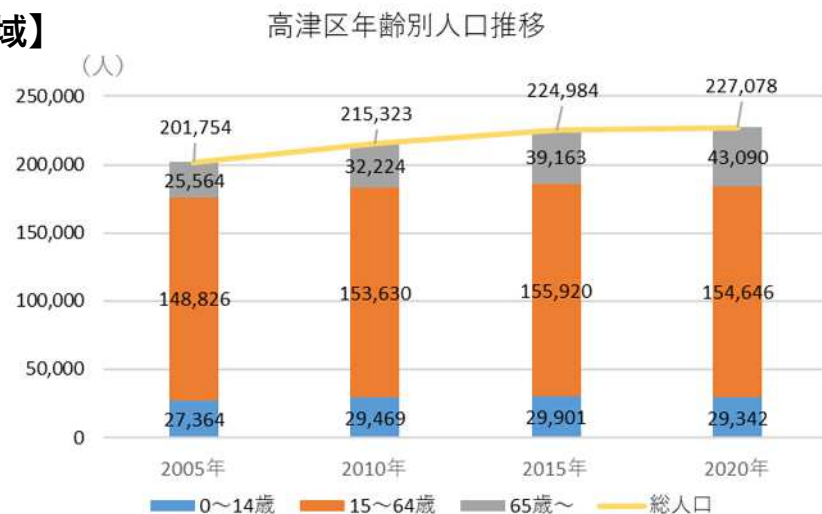


資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

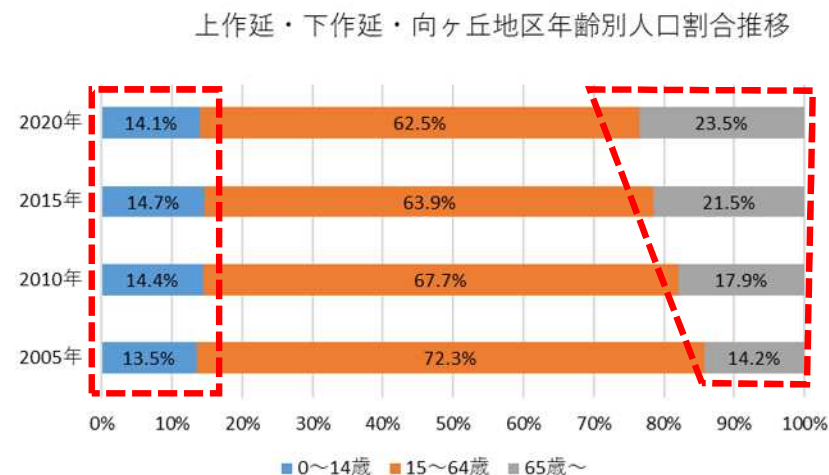
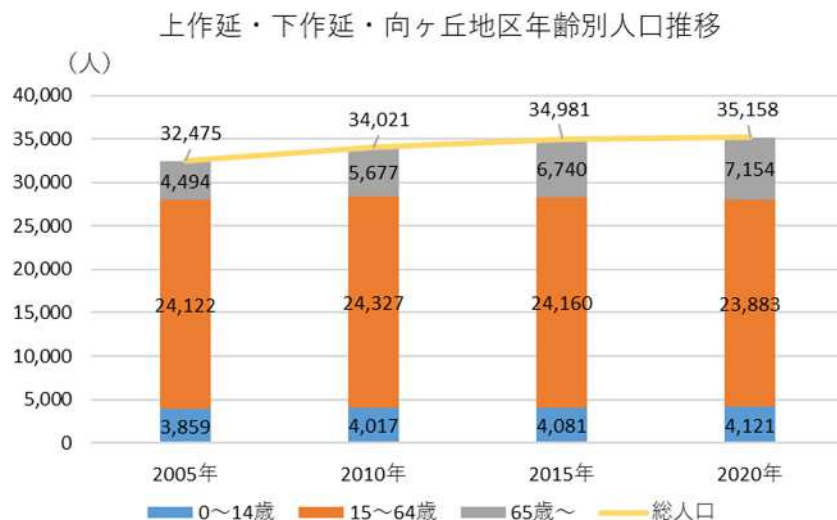
高津区の人口（人口推移・人口割合推移）

- ・「年齢別人口推移」では、上作延エリアは、生産年齢人口（15-64歳）の減少傾向に対し、年少人口（0-14歳）と老年人口（65歳-）が増加傾向となっています。
- ・「年齢別人口割合推移」では、高津区全域に比べると、上作延エリアは年少人口と老年人口の割合が高くなっています。

【高津区全域】



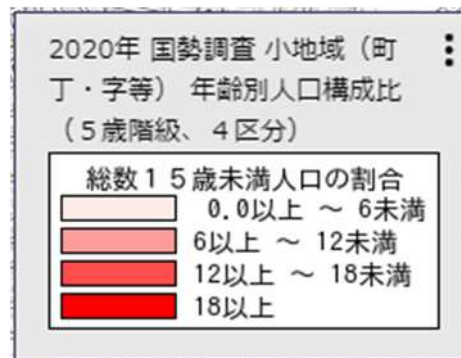
【起点施設：上作延老人いこいの家（上作延・下作延・向ヶ丘地区）】



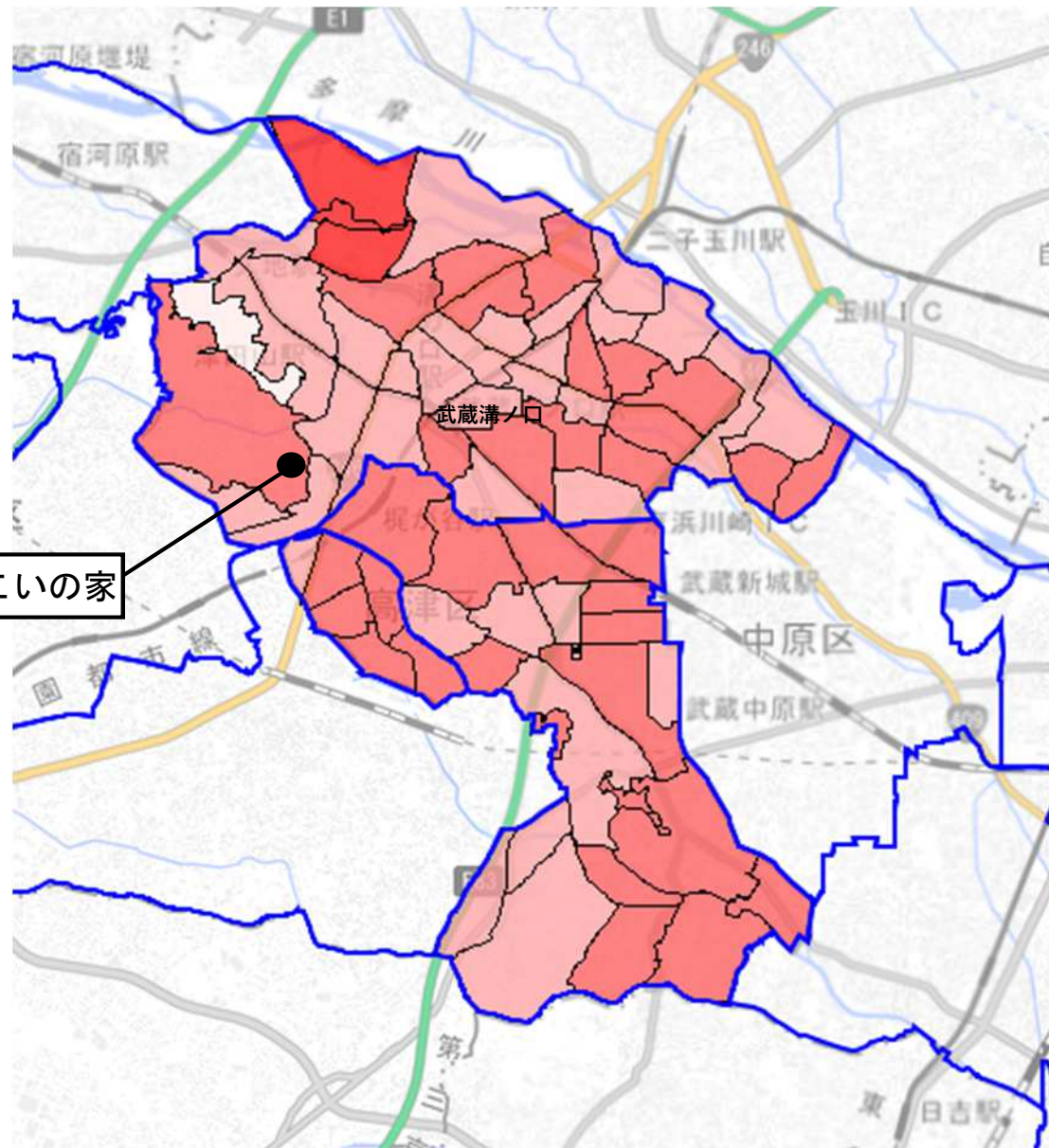
人口動態マップ（高津区の「15歳未満」の人口割合）

● j S T A T M A P （令和2年国勢調査）

【高津区全域】



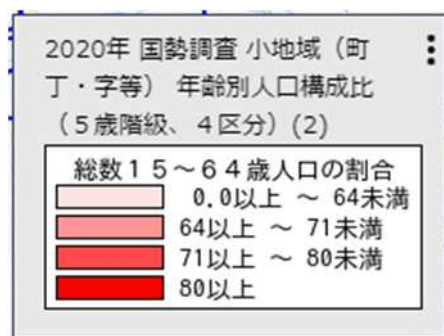
上作延老人いこいの家



人口動態マップ（高津区の「15～64歳」の人口割合）

● j S T A T M A P （令和2年国勢調査）

【高津区全域】

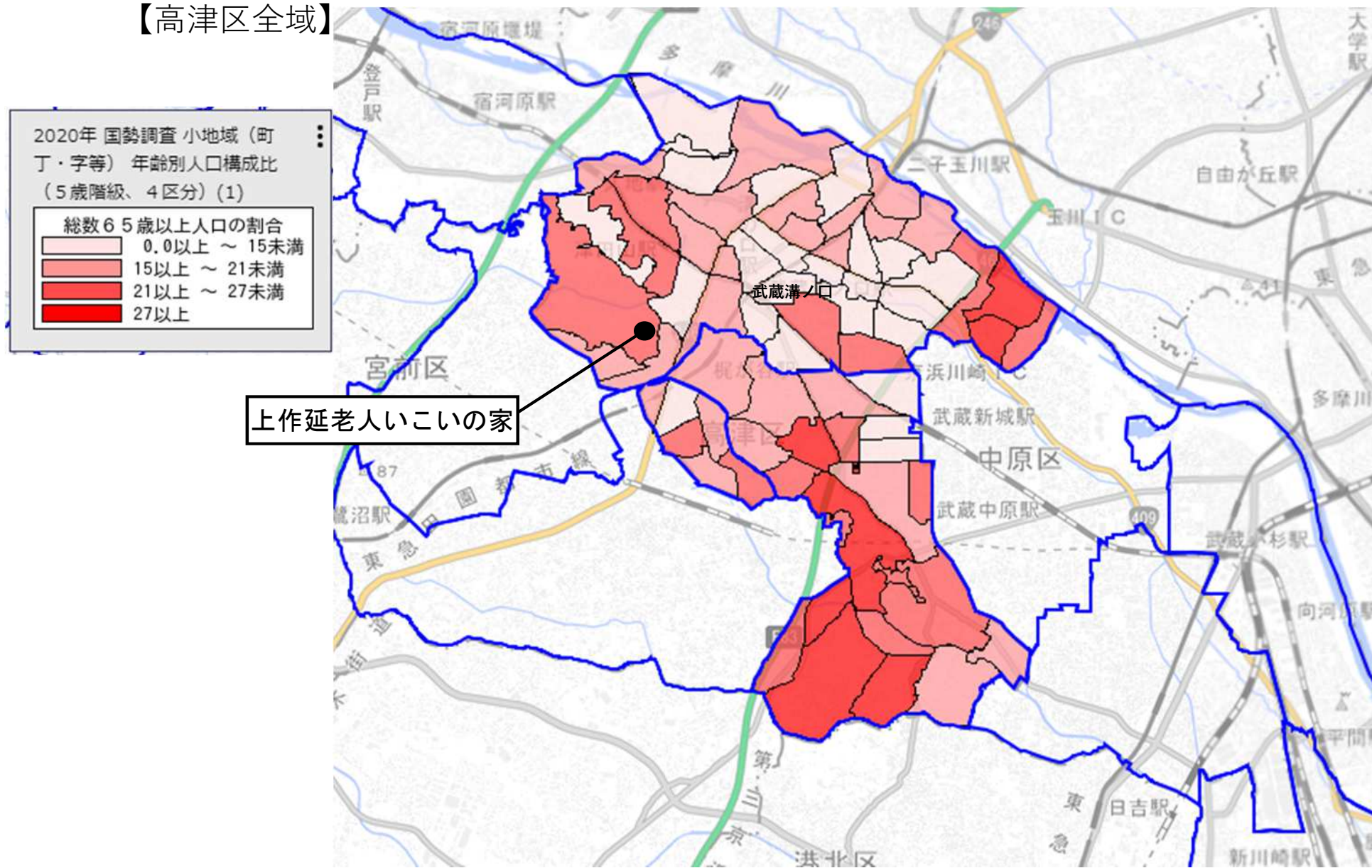


上作延老人いこいの家

人口動態マップ（高津区の「65歳以上」の人口割合）

● j S T A T M A P （令和2年国勢調査）

【高津区全域】



バス路線図（交通アクセス）

●区役所HPより

【上作延老人いこいの家】

JR南武線「津田山」駅徒歩15分

東急田園都市線「梶が谷」駅徒歩15分

バス停「下作住宅前」下車 徒歩5分

上作延老人いこいの家



意見交換②

【高津区】第2回ワークショップでまとめた 「将来像に向けた公共施設の使い方を整理したアイデア（短冊）」

パーソナルモビリティのライドシェア拠点
（バリアフリーの充実→移動の充実。パーソナルモビリティのネットワーク化→公園などに落とし込む）

人と出会ったり交流したり出来る場「ふるさと館」を人が行きたくなる拠点に。
（泊まれて宿場体験、楽しく歴史を学べる。）

歩道が広く、安心して歩けるまち。
（車いす・ベビーカーでも歩きやすい、学校のなかのバリアフリー化、屋根がある歩道、外出したくなるまち）

地域特化型「情報発信基地」
（ミニFM、楽しい・おいしい・防災・防犯のストーリーミングTV）

夢パークを文化・スポーツ・教養の中心拠点にし、近隣小学校とリンクさせ、多世代が活用できるように工夫。

まちの多世代・多属性コミュニケーションを大切にしよう。既存の空きスペース（学校、公園、空き店舗）を有効に活用して、リアル体験を通してコミュニケーションをとる。家庭菜園、廃材クラフト）

「オリエンテッドin高津」マルチ世代によるスポーツ・カルチャーの交流拠点
（公共施設を使ったマルチ世代交流。興味、趣味のマッチング）

単身者、働き世代が使える、喫茶付きコワーキングスペースを図書館に。
（高津図書館、小黑記念館）

ダンス・BMX等の高津で売り出し中のものを中心に、様々なジャンル（音大・クラブ）同士でコラボしながら、子どもたちへの教育、育成を進めて聖地化しよう。

老人向けの施設に限らず、徒歩で行ける施設を様々な世代が使うようにする。
（こ文や小学校なども老人も使う）

規模は減っても、支援が必要な子どものケアサービスは無くさない。支援学校と福祉サービスの連携強化。

MADE in高津を目指して、コミュニケーションから派生したブランド・情報・ビジネスへつなげる。拠点は多機能で、子どもが運営に関わることができる。

安価な入居費でスタートアップ企業向け団地を。施設の保全、管理はしっかりする。地域のお年寄りが仕事として活躍できる場にする。小中学校等の施設はきっと余ってくる。

高齢者の働くしくみ×空き家活用。
（障がいのある方の働く場にもなる・人を紹介するサービス（行政が担う）。インフラ整備にもなる、企業と連携をする、事業にできそう。）

全ての基本として「安全」で災害に強い公共施設とまちづくりにする
（普段から通っている場所が避難所になる・民間のスペースを使う場合は基準を設ける）

地域内の交流イベントに対して公共施設の貸出や補助をする。地域のつながりづくりや、老人の外出機会の創出で健康寿命をのばす。

区役所が複合施設になるとよい。
（図書館と統合する、多目的化をする、飲食できる場所になる、人の集う場所になる）

上作延エリアの公共施設一覧

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 ※R6.3.31時点	年間利用者数 (人)
1	庁舎施設	高津区役所 	高津区下作延2-8-1	・ 条例に基づき設置。主に高津区在住の市民及び市民団体に対し、各種サービス、手続きを提供。	10276.9	1992/11/30 (築31年)	—
3	庁舎施設	みぞのくち市税事務所 	高津区下作延2-7-60	・ 市税の賦課・徴収及び証明、閲覧に関する業務を行っている。主に高津区民及び宮前区民が利用している。	2602.06	—	—
9	消防施設	高津消防署梶ヶ谷出張所 	高津区向ヶ丘8-16	・ 消防力の基盤となる防災拠点であり、消防法に基づく業務を実施している。	511.1	1999/1/27 (築25年)	—
11	消防施設	高津消防団作延分団上作延班器具置場 	高津区上作延424-7	・ 地域に密着した防災活動機関として、各消防署の管轄区域単位に設置されている消防団の活動拠点。消防団員の詰所、活動資器材置場、車庫等の役割。	47.22	1985/12/15 (築38年)	—
12	消防施設	高津消防団作延分団下作延班器具置場 	高津区下作延4-10-17	・ 地域に密着した防災活動機関として、各消防署の管轄区域単位に設置されている消防団の活動拠点。消防団員の詰所、活動資器材置場、車庫等の役割。	45.6	1982/3/31 (築42年)	—
17	学校施設	上作延小学校  	高津区上作延5-8-1	・ 創立：昭和44年11月6日 ・ 学級数 23、児童数646人（令和5年5月1日時点）	8349.88	2012/2/29 (築12年)	—

上作延エリアの公共施設一覧

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 ※R6.3.31時点	年間利用者数 (人)
18	学校施設	南原小学校 	高津区上作延3-9-1	・創立：昭和61年11月1日 ・学級数13、児童数239人（令和5年5月1日時点）	5460.01	1986/3/19 (築38年)	—
43	福祉施設	上作延小学校 わくわくプラザ 	高津区上作延5-8-1	・放課後や土曜日・長期休業期間などに、小学校施設を活用して、児童の安全な居場所及び遊びや生活の場を確保し、様々な文化・スポーツ活動などを通して、異なった年齢層の交流と仲間づくりを支援している。	230.44	2003/3/1 (築21年)	22,612
44	福祉施設	南原小学校 わくわくプラザ 	高津区上作延3-9-1	・放課後や土曜日・長期休業期間などに、小学校施設を活用して、児童の安全な居場所及び遊びや生活の場を確保し、様々な文化・スポーツ活動などを通して、異なった年齢層の交流と仲間づくりを支援している。	268.82	2002/3/8 (築22年)	8,595
52	福祉施設	上作延こども文化センター（2階） 	高津区上作延5-26-55 (複合施設)	・こどもの健全育成のため、利用者に対して遊びの指導や健全育成に資するサービスを提供している。児童福祉法上の児童館の位置付けであり、集会室、遊戯室、図書室等や事務執行に必要な設備を備えた施設。	302.45	1976/3/31 (築48年)	29,218
63	福祉施設	上作延老人いきいの家（1階） 		・高齢者の教養の向上及びレクリエーション活動に関する事業の実施、利用者の自主活動に対する活動の場を提供している。各施設には、大広間、日常訓練動作室、クラブ室、談話室、浴室、静養室、事務室などを設置。	314.09	1976/3/31 (築48年)	4,948
68	福祉施設	恵楽園 	高津区下作延2-26-1	・老人福祉施設。入所及び養護、老人デイサービス事業及び居宅介護支援の提供。利用対象は経済的な理由及び環境的な理由で在宅での生活が困難な高齢者で福祉事務所が養護老人ホームへの措置を必要すると判断した者。	5067.32	1993/3/25 (築31年)	—

上作延エリアの公共施設一覧

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 ※R6.3.31時点	年間利用者数 (人)
82	市営住宅 施設	上作延市営住宅 	高津区上作延755-1	・ 武蔵溝ノ口駅バス10分 ・ 管理戸数：377戸	19292.4	1978/1/27 (築46年)	—
83	市営住宅 施設	上作延第2市営住宅 	高津区上作延462-1	・ 武蔵溝ノ口駅バス6分 ・ 管理戸数：123戸	8514.66	1982/7/20 (築41年)	—
88	市営住宅 施設	下作延南市営住宅 	高津区下作延3-10	・ 梶ヶ谷駅徒歩15分 ・ 管理戸数：50戸	3451.5	1983/7/15 (築40年)	—
89	市営住宅 施設	下作延中市営住宅 	高津区下作延5-8	・ 武蔵溝ノ口駅バス5分 ・ 管理戸数：90戸	6525.6	1986/3/26 (築38年)	—

上作延老人いこいの家

※上作延こども文化センターとの複合施設

1階：上作延老人いこいの家

2階：上作延こども文化センター

施設概要：地域の健康な高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、虚弱な高齢者を地域で支え合い、助け合っていくための福祉活動の拠点機能を併せもつ施設です。

利用時間：月～土 9:00～16:00

対象者：川崎市内在住の満60歳以上の方

築年数：48年（R6.3.31時点）

年間利用者数：4,948人（川崎市公共施設白書【令和4年度版】）



大広間では、ボッチャや体操、教養講座など様々な利用ができます。



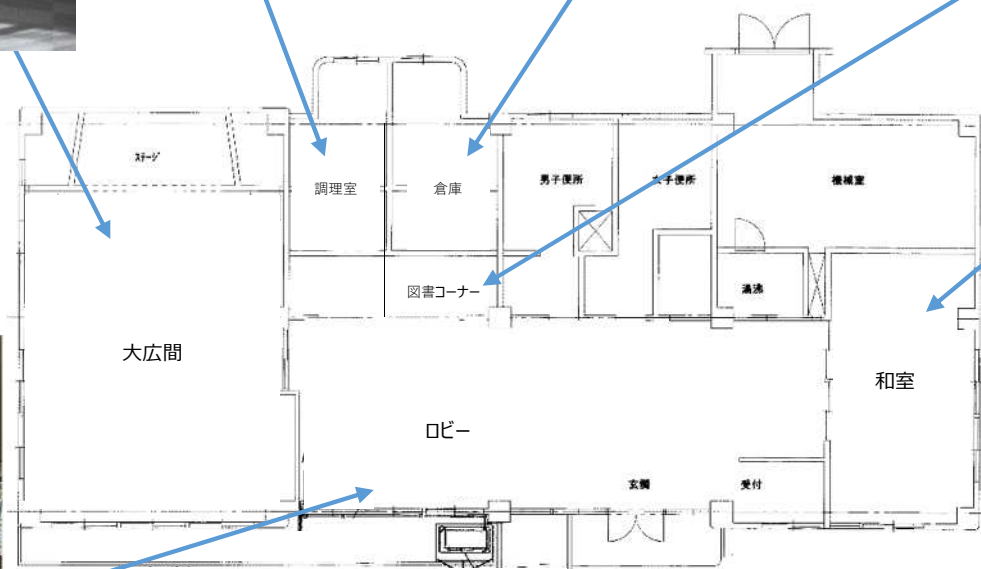
調理室



倉庫



図書コーナー



6畳と8畳の和室



ロビー



外観

上作延こども文化センター

※上作延老人いこいの家との複合施設

1 階：上作延老人いこいの家

2 階：上作延こども文化センター

施設概要：こども文化センターは、児童が健やかに育ちゆく願いをこめて、児童の地域での遊びの拠点として、また児童の健全育成を目指して設置されています。

利用時間：月～土 9:30～21:00（日・祝日は18:00まで）

18時以降の利用は中学生以上。保護者同伴であれば、小学生以下の利用も可。

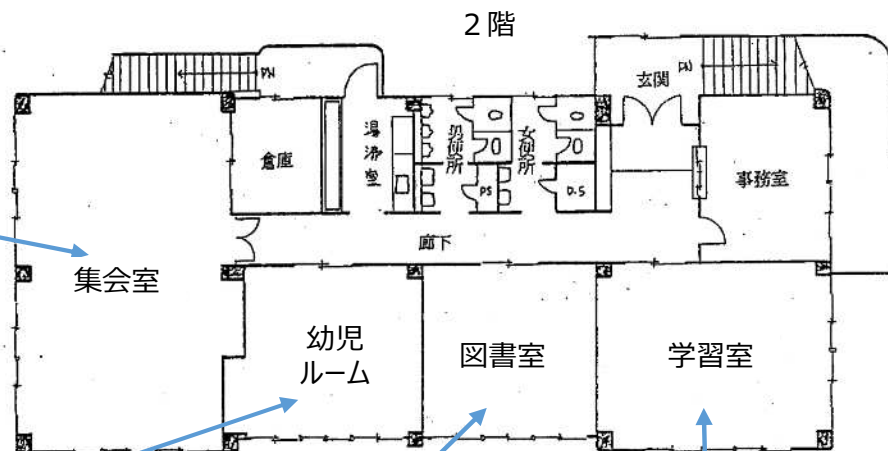
対象者：0歳～18歳未満までの児童、青少年の健全育成・市民活動に携わる地域の方々

築年数：48年（R6.3.31時点）

年間利用者数：29,218人（川崎市公共施設白書【令和4年度版】）



バドミントンや卓球、ボール遊びなど体をつかって遊ぶことができます。



1 階外庭



2 階玄関



乳幼児向けのおもちゃや絵本があります。授乳スペースやベビーベッドも設置しています。



漫画や児童書等があります。本は貸出しも行っています。



貸出遊具や持ち込みのゲームで遊ぶこともできます。このお部屋だけお菓子も食べられます。



外観